

令和2年度 貞光小学校 学校評価総括表

貞光小学校長 西岡 健

(学校教育目標) 知徳体の調和のとれた人間性豊かな児童を育てるとともに、基本的人権を尊重し、自主性・社会性・創造性に富む心身ともにたくましい実践力のある児童を育てる。	(校訓) 至 誠 — いま なさざれば —	学級数	児童総数	教職員数	
		9	141	19	

令和2年度 重点目標	① 児童一人ひとりを大切に、児童が生き生きと学べる、学級・学校経営を充実させる。【知】 ② 学校教育全体を通じて人権教育の徹底を図り、いじめや差別を許さない児童を育成する。【徳】 ③ 健康や体力づくりのため、積極的に運動等に取り組んでいく態度を養う。【体】	めざす 子ども 像	・素直で広く考える子ども (人の話をよく聞き、自ら学び、自ら考える) ・仲よく助け合う子ども (相手の立場になって考え、思いやりをもち、協力し合う) ・元気によく働く子ども (健康で、生き生きと活動し、最後までやりとげる)
---------------	--	-----------------	--

自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
活動計画	評価指標	自己評価		
① 知	家庭学習の手引きを活用し、家庭学習習慣を定着させる。 分かる授業展開のために指導方法の工夫改善に努める。 教職員が目標を共有し、協力して指導にあたる。 教職員の業務改善を推進し、超過勤務を少なくする。	B A A C	B	家庭と学校が協力して、児童それぞれの生活スタイルの中で家庭学習が定着するよう期待している。また、教職員の働き方改革が推進されるよう、工夫改善を求めよう。
② 徳	道徳教育・人権教育を年間計画に基づいて実施する。 教師自身も積極的にあいさつを行うとともに、児童の挨拶指導を行う。 児童の様子や教師が指導した事柄について積極的に保護者に知らせる。 いじめに関する調査を定期的に実施し、全職員で指導する。	A A B B	B	挨拶やTPOに応じたコミュニケーションについて今後も継続した指導を願いたい。道徳教育・人権教育の時間について、児童の実態把握に努め、安心して学べる学校づくりに努めたい。
③ 体	家庭と連携し、早寝・早起き・朝ごはん等規則正しい生活ができるようにする。 外遊びを奨励し、個に応じた運動目標を持たせ、達成ができるようにするとともに運動の楽しさを味わわせる。	B A	B	基本的な生活習慣・体力づくりについては、さらに工夫改善をし、学びの基礎づくりや体力向上の充実した取組を期待する。

(評価基準 : A 目標を達成できた B ほぼ目標を達成できた C やや目標を下回った D 改善を要する)